

開発途上国 12 カ国 16 名の研究者や技術者を対象として実施した  
1 年間の地震工学通年研修が終了します。

国立研究開発法人建築研究所では、毎年、国際地震工学研修として 3 つの研修を実施しています。[裏面：写真]

3 つの研修のうち、開発途上国の若い研究者や技術者を対象とした、地震学、地震工学、津波防災の各分野に関する「地震工学通年研修」は、(独)国際協力機構及び政策研究大学院大学との連携により、修士号の取得が可能な研修になっています。

令和元年 10 月 2 日から開始した本研修では、地震学、地震工学、津波防災の 3 つのコースに分かれ、それぞれの専門性を考慮した講義や実習(平成 28 年熊本地震の被災現場の見学等)を行いました。

この研修に選ばれて参加した 12 カ国 16 名の研修生が閉講式に出席します。特に、今回は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という極めて困難な状況にあっても最後まで研修をやり遂げた研修生各人の熱意と努力に大いに敬意を表したいと思います。

<参考：第60回国際地震工学研修閉講式の日程等>

日時：令和2年9月14日(月) 11:00～

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂(つくば市立原1)

研修修了生の出身国と人数(単位：人)：

コスタリカ(2)、インドネシア(2)、東ティモール(1)、  
モンゴル(2)、フィリピン(2)、バングラディッシュ(1)、  
ブータン(1)、チリ(1)、エルサルバドル(1)、メキシコ(1)  
ミャンマー(1)、ネパール(1)

<その他の情報については、<https://iisee.kenken.go.jp/japanese/>を参照のこと>

#### (内容の問合せ先)

国立研究開発法人建築研究所
所属 国際地震工学センター 管理室長
氏名 山田高広
電話 029-879-0678(直通)
E-mail yamada@kenken.go.jp

裏面



熊本県南阿蘇村の阿蘇大橋付近の見学  
(2020/8/22)



明石海峡大橋 (2020/8/21)  
マスク着用で行動



遠隔講義の様子 (2020/4/1)  
講師は遠隔で講義



遠隔講義の様子 (2020/4/2)  
講師は遠隔で講義



最終発表会 (2020/8/6)  
マスク着用で聴講



最終発表会 (2020/8/7)  
発表時にフェイスガードを着用